

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21H00729

研究課題名（和文）地域金融市場の効率性とCOVID-19の影響

研究課題名（英文）Efficiency of Regional Financial Market and the Impact of the Covid-19 Infections

研究代表者

植杉 威一郎 (UESUGI, Iichiro)

一橋大学・経済研究所・教授

研究者番号：40371182

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 14,610,000円

研究成果の概要（和文）：地域金融市場における競争度の計測、預金・貸出を通じた地域間・地域内の資金循環指標の作成、競争度が資金調達環境に及ぼす影響、地域間資金循環、競争度、市場の効率性との連関、COVID-19感染拡大が地域金融市場の効率性に及ぼす影響に関する研究を推進した。英文学術誌に論文を5本刊行して、学術上の成果を挙げた。同時に、貸出・預金市場の集中度や地域間資金循環指標を对外公表し、海外研究者を招いて国際ワークショップを開催するなど、成果の普及・広報にも努めた。特に、成果を取りまとめた日本語の書籍『中小企業金融の経済学 金融機関の役割 政府の役割』を刊行し、日経・経済図書文化賞などの各種の賞を受賞した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

金融機関の貸出や預金が地域経済にどのような役割を果たしているかという点は、日本経済の動向を理解する上で重要である。しかしながら、都道府県ごとに金融機関の貸出や預金がどの程度集中しているか、都道府県間で金融機関の預金が貸出の形でどのように移動しているかといった点は、データの不足によりこれまで明らかではなかった。今回のプロジェクトは、都道府県ごとの貸出市場・預金市場の集中度、貸出・預金を通じた地域間資金循環指標を日本で初めて網羅的に作成・公表した。これにより、地域市場の現状を評価する客観的な指標を得ることができ、政策立案にも役立つことが期待される。

研究成果の概要（英文）：This project implemented research on the following five issues:(1) measurement of competition in regional financial markets;(2) construction of inter-regional flow of funds indicators via loans and deposits;(3) impact of competition on firms' credit availability;(4) interaction between inter-regional flow of funds, competition, and market efficiency; and (5) impact of COVID-19 on the efficiency of regional financial markets. The project published five articles in English peer-reviewed journals. At the same time, it publicized the research outputs by publicly posting data on the concentration in the regional financial markets and those on interregional flow of funds. It also held an international workshop. Finally, the project published a Japanese book "Economics of Small and Medium Enterprise Finance: Role of Financial Institutions and Role of the Government," which received several awards including the 65th Nikkei Prize for Excellent Books in Economic Science.

研究分野：企業金融

キーワード：地域金融 COVID-19 貸出市場 効率性

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

地域経済で大きな役割が期待される地域金融機関は、地域金融市場の構造変化の中で変革が求められている。少子高齢化による人口構造の変化が、地方企業の生産活動低下をもたらし、借入需要の減退へと結びついている。マイナス金利政策による金利収入の低下、Fin Tech などの決済ビジネスへの参入により地域金融市場の競争環境は厳しく、地域金融機関には時代に対応した効率的な経営が求められている。しかしながら、市場における競争度と金融機関の経営効率性の 2 つの観点から地域金融市場のあり方を考える場合、先行研究では考慮されていない視座がいくつか存在していた。第一に、従来の多くの研究では、都道府県など一定の空間的な広がりを持つ行政区分で貸出市場を特定しているが、現実の地域金融機関は、新たな貸出先を求め県境を越えて貸出を行っている。第二に、金融機関の本質的な機能は預金を集めて貸出を提供する資金仲介にあるが、先行研究はそのうち貸出もしくは預金のみ注目することが多く、地域金融市場で資金仲介がどのように機能しているかという観点が存在しない。第三に、個々の金融機関行動や地域金融市場における資金の流れがどのように地域経済の活性化につながっているのか、という点に関する仕組みが解明されていない。

2. 研究の目的

本研究課題では、これまでの研究状況を踏まえて、「貸出市場をどのように捉えるか」「預金を受け入れて貸し出す金融機関は地域金融市場でどのような仲介機能を発揮しているか」「個々の金融機関や地域金融市場は、地域経済にどのような影響をもたらしているか」という 3 つの問いに答えることを目指した。

3. 研究の方法

以下の 5 つの柱を立てて、それぞれについて様々なレベルのデータを用いた研究を推進した。それぞれ、(1)地域金融市場における競争度の計測、(2)預金・貸出を通じた地域間・地域内の資金循環指標の作成、(3)競争度が資金調達環境に及ぼす影響、(4)地域間資金循環、競争度、市場の効率性との連関、(5)COVID-19 感染拡大が地域金融市場の効率性に及ぼす影響、である。

4. 研究成果

5 つの研究分野それぞれで以下のような研究成果を得た。また、これら 5 つの分野の内容を含む研究成果を取りまとめた日本語の書籍『中小企業金融の経済学 金融機関の役割 政府の役割』を刊行し、日経・経済図書文化賞、全国銀行学術研究振興財団賞、中小企業研究奨励賞経済部門本賞を受賞した。

研究 1

日本における貸出市場と預金市場の都道府県と都市雇用圏レベルでの集中度を 2005 年から 2019 年まで示した論文を執筆した上で、それを英文学術誌に公刊した。貸出市場と預金市場のいずれにおいても集中度は緩やかに上昇していること、そのような中で、貸出市場では集中度が低下する大都市圏の都道府県とそれ以外の道府県との間で二極化が生じていることが明らかになった。さらに、コロナ禍やその後の期間である 2020 年以降に注目して、地域貸出市場の集中度の最近の動向を把握する作業を進めた。また、日本の貸出市場における金融機関と企業との間の物理的距離の外生的な変化が企業のメインバンク関係に及ぼす影響についての論文を改訂し、それを英文学術誌に公刊した。

研究 2

2005 年から 2019 年までと 2020 年から 2022 年にかけての貸出・預金を通じた地域間資金循環指標を作成して、その動向を把握した。その結果、ある地域で集められた預金はその地域に貸し出される割合が最も高い一方で、その程度には都道府県間でばらつきが大きいこと、地方で集められた預金が東京で貸し出される割合は 2010 年代半ばまで上昇したがその後低下していること(図 1 参照)、コロナ禍の下でもこれらの傾向に大きな変化がみられないこと、が分かった。

研究 3

貸出市場における銀行合併が企業の資金調達環境に及ぼす影響に関する論文を、英文学術誌に公刊した。メガバンク同士の合併では、合併行と取引する中小企業が直面する金利が事後的に上昇することが明らかになった。

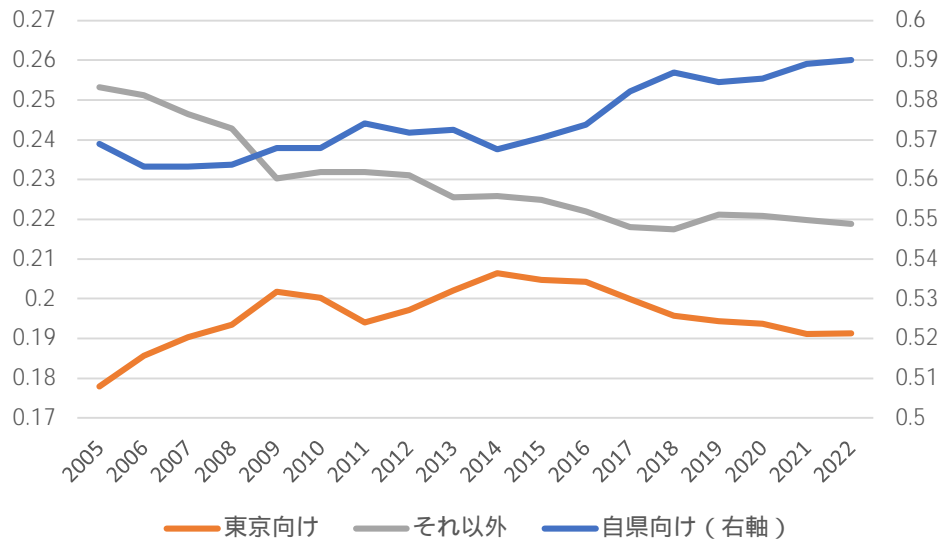
研究 4

米国の海外研究者との共同研究を開始して、地域間資金循環と地域・産業ごとに異なる無形資産への依存度との関係を分析した。関連して 2023 年 3 月末において当該研究者などを招いた国際ワークショップを開催し、貸出市場の機能や銀行行動に関する研究発表を行い活発な議論を行った。

研究 5

企業向けアンケート調査に基づいて政府による各種支援措置の利用状況を把握した上で、その支援措置が企業パフォーマンスに及ぼす影響について定量的な分析を行った。かつ、その論文を国際カンファレンスで発表した上で、英文学術誌に公刊した。特にコロナ禍の期間中における企業の現預金保有行動についても分析を行い、その結果を英文学術誌に公刊した。さらに、多くの企業が政府によるコロナ禍の下での各種支援措置を複数利用している状況を踏まえて、その利用の決定要因に関する分析を進めた。

図：自県で集められた預金が自県、東京、東京以外の他県で貸出として用いられる割合（％）



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 11件／うち国際共著 3件／うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Honda Tomohito, Hosono Kaoru, Miyakawa Daisuke, Ono Arito, Uesugi Iichiro	4. 巻 67
2. 論文標題 Determinants and effects of the use of COVID-19 business support programs in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101239 ~ 101239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2022.101239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Miyakawa Daisuke, Shimizu Chihiro, Uesugi Iichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Do Foreign Buyers Pay More Than Domestic Buyers? Evidence from International Transaction-Level Data	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Journal of Real Estate Finance and Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11146-022-09937-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Uesugi Iichiro, Hiraga Kazuki, Manabe Masashi, Yoshino Naoyuki	4. 巻 63
2. 論文標題 Measuring concentration in the Japanese loan and deposit markets	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101148 ~ 101148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2022.101148	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tomohito Honda and Iichiro Uesugi	4. 巻 -
2. 論文標題 COVID-19 and Precautionary Corporate Cash Holdings: Evidence from Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Monetary and Financial Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono Arito, Saito Yukiko U., Sakai Koji, Uesugi Iichiro	4. 巻 52
2. 論文標題 Does Geographical Proximity Matter in Small Business Lending? Evidence from Changes in Main Bank Relationships*	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Journal of Financial Studies	6. 最初と最後の頁 819 ~ 855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ajfs.12447	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshino Naoyuki, Yuyama Tomonori, Taghizadeh-Hesary Farhad	4. 巻 22
2. 論文標題 Diversified ESG Evaluation by Rating Agencies and Net Carbon Tax to Regain Optimal Portfolio Allocation	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Economic Papers	6. 最初と最後の頁 81 ~ 96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/asep_a_00871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshino Naoyuki, Kameda Keigo, Miyamoto Hiroaki, Lu Zhenkun	4. 巻 -
2. 論文標題 Comparison of Various Fiscal Policies in the Face of Different Demographic Stages	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The Singapore Economic Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0217590824450097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyazaki Tomomi, Hiraga Kazuki, Kozuka Masafumi	4. 巻 71
2. 論文標題 Stock market response to public investment under the zero lower bound: Cross-industry evidence from Japan	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101302 ~ 101302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2023.101302	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平賀一希、真鍋雅史	4. 巻 56-1
2. 論文標題 地域経済と貸出行動 日本における地方部の県(X県)を事例にした 経済変数と個別金融機関要因の定量的評価	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 オイコノミカ	6. 最初と最後の頁 21~34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hossain Monzur, Yoshino Naoyuki, Tsubota Kenmei	4. 巻 15
2. 論文標題 Sustainable Financing Strategies for the SMEs: Two Alternative Models	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 8488~8488
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su15118488	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshino Naoyuki, Rasoulinezhad Ehsan, Phoumin Han, Taghizadeh-Hesary Farhad	4. 巻 36
2. 論文標題 SMEs and carbon neutrality in ASEAN: the need to revisit sustainability policies	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Economic Research-Ekonomska Istrazivanja	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1331677X.2023.2177180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計17件(うち招待講演 5件/うち国際学会 4件)

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 ポストコロナの中小企業金融：金融機関の役割 政府の役割
3. 学会等名 商工総合研究所中小企業研究奨励賞受賞記念講演(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 危機時における中小企業への金融支援措置：効果と課題
3. 学会等名 一橋大学政策フォーラム「ポストコロナの経済活性化に向けて 企業の新陳代謝の促進と日本の成長戦略」パネルディスカッション
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 ポストコロナの中小企業金融：金融機関の役割に注目する
3. 学会等名 Hitotsubashi Institute for Advanced Studies-SMEセミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 SMEs in Japan: Past, Present, and the Future
3. 学会等名 Keynote Speech at the Japan Currents Symposium by the Japan-America Society of Dallas Fort Worth（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 ポストコロナの中小企業金融：金融機関の役割 政府の役割
3. 学会等名 経済産業研究所BBL
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 ポストコロナの中小企業金融と資金配分の効率性
3. 学会等名 経済同友会財政・税制委員会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Lending pro-cyclicality and macroprudential policy: Evidence from Japanese LTV ratios
3. 学会等名 住宅経済研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 中小企業金融における政府の役割
3. 学会等名 日本政策投資銀行設備投資研究所アカデミックセミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 日本企業の資金調達とゾンビ企業、無借金企業
3. 学会等名 TCERコンファレンス「日本の金融システム：現状、課題、展望」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 ポストコロナの中小企業金融
3. 学会等名 日本経済研究センターセミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Measuring Concentration in the Japanese Loan and Deposit Markets
3. 学会等名 Japan and the World Economy Symposium on Government Statistics and Economic Performance
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Determinants and Effects of COVID-19 Business Support Programs: Evidence from a Survey to SMEs in Japan
3. 学会等名 NBER-TCER-CEPR TRIO Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 コロナ禍で企業が受けた影響、とった対応、利用した支援措置
3. 学会等名 内閣府経済社会総合研究所国際ワークショップ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Measuring Concentration in the Japanese Loan and Deposit Markets
3. 学会等名 日本金融学会秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Interregional flow of funds in Japan via loans and deposits of financial institutions, and its determinants
3. 学会等名 日本經濟学会秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 How SMEs were affected by the COVID-19 and how they dealt with it
3. 学会等名 9th GamalCEB (Gadjah Mada International Conference on Economics and Business) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植杉威一郎
2. 発表標題 Interregional flow of funds in Japan via loans and deposits of financial institutions, and its determinants
3. 学会等名 韓国金融学会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 植杉 威一郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日経BP 日本経済新聞出版	5. 総ページ数 416
3. 書名 中小企業金融の経済学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	眞鍋 雅史 (Manabe Masashi) (20537071)	嘉悦大学・経営経済学部・教授 (32801)	
研究分担者	平賀 一希 (Hiraga Kazuki) (40528923)	名古屋市立大学・大学院経済学研究科・准教授 (23903)	
研究分担者	吉野 直行 (Yoshino Naoyuki) (50128584)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・名誉教授 (32612)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Workshop on Banking and Finance	開催年 2023年～2023年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

米国	Federal Reserve Board			
----	-----------------------	--	--	--